平成18年度石狩市学校給食センター運営委員会会議録

開催日時：平成18年12月15日（金）

開催時間：午後2時00分から3時30分

会 場：りんくる（視聴覚室）

出席委員：東川、佐藤（高信）、中村（武史）、

大野、島田、佐藤（三男）、

中村（一治）、齊木、佐藤（千恵

子）、高橋、大森、小林、南部

各委員

傍 聴 者：なし

開 会

1 委嘱状交付

2 教育長挨拶

3 委員及び事務局職員の紹介

4 委員長及び副委員長の選出

（センター長）石狩市学校給食センター条例施行規則第4条に「委員の互選」となっておりますので、選出に当たって案があれば、提案してください。

（高橋委員） 運営委員長に島田義治さん、副委員長に井川悦美さんを推薦します。

（センター長）運営委員長に島田義治様、副委員長に井川悦美様の推薦がありました。他に提案はありませんか。

（他に提案なし）

それでは、島田義治様、副委員長に井川悦美様が決定しましたので、これより進行を島田運営委員長に交代します。

5 委員長挨拶

6 説明

（1） 学校給食センターの概要について

（センター長） 石狩市学校給食の概要、お手元の資料1Pでございます。

に学校給食の目的、根拠法令の法律を記載しております。

には、給食センター運営委員会についての役割を記載しております。そして根拠となる市の条例、施行規則については、「別綴りの資料」を添付しておりますので、ご参照願います。

につきましては、昭和42年の石狩の学校給食の開始以来、そして平成17年10月の石狩・厚田・浜益の合併以来の主な取組状況などを記載しており平成18年においては新たに農薬・化学肥料を減らして栽培した「美登位米の試行的提供」、更には浜益学校給食センターにおいては、4月より浜益産米を学校給食に提供しております。

につきましては、学校給食に関する「石狩市の予算」を記載しております。

歳入であります。給食費につきましては「保護者並びに教職員、センターの職員など」が負担する給食費で「食材購入費」に総て充てております。また、「一般財源」につきましては、「食材購入費」以外に係る財源であり、主に光熱水費、調理員の人件費、給食費に関わる就学援助費、給食の配送に係る費用などであり、市が単独で負担している費用は、平成18年度予算で申し上げますと239,702千円となります。

3地区の年間給食費についてであります。この表については合併前よりの3地区の給食費の単価を表示しております。また給食日数につきましては、合併後において3地区の小中学校の始業式並びに終業式などが統一されたことから、平成18年度より年間給食日数は3地区において統一されたところであります。

また、給食費の単価の差につきましては、主に3地区における生鮮食品の購入量、輸送距離、購入先などにより、このような差が生じているところであります。合併協議会においては合併後に給食費統一の指摘を受けているところであります。

についてであります。この表につきましては、3地区の4学校給食センターの概要について記載しております。

始めに誤りがありますので、訂正願います。調理数の合計であります。備考欄に「合計5,790」と記載しておりますが、「5,740」に訂正願います。

なお、調理業務及学校での配膳業務、更に施設の管理などについて、石狩地区は「石狩市公務サービス㈱」に委託をしているところであります。

また、浜益学校給食センターにつきましては、昭和41年の開設であり、調理場もウエットシステムであり衛生管理上からも施設のあり方について検討しなければなりません。

以上、石狩市学校給食の概要についてご説明をさせていただきました。

(委員長)

質問を受けます。

(中村武史委員)

ドライシステム・ウエットシステムとはどういうものですか。

(センター長)

ドライシステムとは調理場が乾いている状態を保つ調理システムで、細菌の発生を抑えることが出来るシステムです。それに対してウエットシステムは、調理場が湿っている状態の調理システムです。

(中村武史委員)

他のセンターのシステムはドライシステムに替わっていったのですか。

(センター長)

ウエットシステムからドライシステムへ、更に最近の調理場はハセップへと変わりつつあります。

(委員長)

他に質問はありませんか。ないようですので、それでは次へ進みます。

(2) 平成17年度給食費の収納状況について

(センター長)

お手元の資料のP4、平成17年度給食費収納状況について説明します。

これにつきましては、3地区の給食費の収納状況について記載しております。

収納率を申し上げますと、3地区の合計では平成17年度の現年度分で99.5%であり平成16年度と比較して0.65%上昇しております。また過年度分におきましては16.3%であり平成16年度と比較して8.8%上昇しております。また、不納欠損につきましては、5世帯28件1,020,013円を不納欠損処分しました。

なお、徴収の取組であります。旧石狩市においては平成15年度より嘱託徴収員の採用、平成16年度より学校での給食費納付相談、法的措置として裁判所への支払督促の申立、平成17年度より学校給食申込書の提出、生活保護世帯に対する代理納付などの実施により、平成14年度と平成17年度を比較して現年度分で約2%、過年度分で約13%収納率が上昇しており、一定の成果が上がったものと考えております。

以上、説明を終わらせて頂きます。

(委員長) 質問を受けます。

(大森委員) 浜益地区については収納率100%ですが、徴収方法はどのような方法をとっているのですか。

(センター長) 合併以前から学校持参で、お願いしています。

(佐藤高信委員) 不納欠損額は、どのような内容になっていますか。

(センター長) 徴収に鋭意努力していますが最終的に徴収できなかった分で卒業後、若しくは転出後5年間の間において全く納付のなかったものです。

(委員長) 学校でも「学校だより」等を通じて、出来る限り給食費徴収の協力をさせてもらっているところです。

(大森委員) 学校給食申込書の様式はどのようになっているか、申込書の内容を知りたいのですが。

(センター長) 後日、提出します。

(委員長) 他に質問はありませんか。ないようですので、それでは次へ進みます。

(3) 主な取組状況について

(センター長) お手元の資料P5で、コンポストの設置であります。

目的として、食育 残さず食べる。ゴミ 減量する。分別する。環境 リサイクルする。これら、それぞれの観点から本年度の2学期、夏休み明けから10月末の降雪時までの投入量を記載し表のとおり、小規模の小中学校及び給食センターで実施しました。

次に「石狩デー」についてですが、お手元の資料でP5からP6でございます。ここに3の目的を記載しておりますが、今年で2回目となります。「石狩デー」として地元食材を収穫時期に合わせて献立をたて、本年度は石狩地区において2回実施しております。

第1回目は、花川南小学校の6年生を対象にし、4時間目の授業時間で生産が自分達で栽培した野菜及び稲を持参し、農業の説明を、学校栄養職員が地場産

野菜の栄養価などを児童に説明しました。また、今回、3地区が合併したこともあり、「厚田の手作り味噌」を使用しました。

第2回目ではありますが、紅南小学校の6年生を対象にし、生産者及び学校栄養職員が農業や野菜の栄養価などについて児童に説明をしました。また当日は生産者が自分達で生産した野菜や麦を学校に持参し授業で使用しました。更に、今回初めての試みとして、石狩産の小麦粉＝春よ恋で角食パンをまた、石狩産の小麦粉＝ホロシリでグラタンとシチューを作りましたので、教育長を始めJA職員が学校で生産者と一緒に給食を食べてたところでもあります。また、花川北中学校におきましては、同校の生徒が事前に生産者取材し、石狩デーの実施に併せて録画したビデオを当日、上映しました。なお、「石狩デー」実施時期が収穫時期であり農家の方も大変多忙でありましたが、快く児童・生徒への授業に協力して頂き、児童・生徒も農家の方が持参した葉の付いた野菜や米・麦の穂を見て、地元で収穫される食材、そして「食に関して」一定の理解を得られたと考えております。以上で主な取組についての説明を終わらせて頂きます。

- (委員長) 質問を受けます。
- (中村武史委員) コンポストの肥料はどのように使われているのですか。
- (センター長) 発酵が遅く肥料として十分に使える状態にはならないので、もっと発酵させてから十分に肥料として使える状態で、学校の花壇等に使用したいと考えています。
- (中村武史委員) 肥料をなるべく有効に使ってほしいと考えます。
- (中村一治委員) コンポストの取組は学校の負担も大きく、大変な取組です。
- (センター長) 今年の夏から実施している取組ですが、マニュアルを作成し取組んでいるところです。石狩地区の実施については、住宅が密集している地区であり、臭いや虫の発生を懸念しています。また大規模校は総てが堆肥化できるかと言う課題もあります。学校と十分な打合せをし、出来る学校から実施したいと思っています。
- (佐藤三男委員) 今後もコンポスト設置を進めていくのですか。
- (センター長) 只今申上げた3の観点からも実施したいと考えております。
- (大森委員) 第一給食センターに生ごみ処理機がありますが、実施対象に含まないのですか。
- (センター長) 石狩地区の9小学校から生じる残菜分は第一センターに持ち込まれ生ごみ処理機で処理しています。しかしコンポスト設置目的を考えると、それでいいのかという問題もあります。
- (佐藤三男委員) 調理場に生ごみ処理機がないところにコンポストを設置していくことなのですか。それは、今後、実施する学校も拡大していくことですか。
- (センター長) 学校側と協議をしながら出来る限り拡大していきたいと考えています。
- (佐藤千恵子委員) コンポスト設置の目的はごみ処理の費用が削減されるからですか。それとも

3つの観点からですか。

- (センター長) 3つの観点から、これからコンポストを設置することにより、ゴミを減量化し、結果としてゴミ処理費用が削減されることとなります。
- (大森委員) 状況把握のために、コンポストの使用マニュアルがほしいです。
- (センター長) マニュアルは後日、提出します。
- (佐藤三男委員) 望来小学校は2学期から始めていますが、児童は完食に近い状況で給食を食べています。
- (中村一治委員) 浜益中学校は職員が行っています。大変手間がかかり、今後も続けていけるかどうか。主食・温食缶・おかずの水分量、投入量と分類別に量る必要があるのでしょうか。
自分たちの食を見直すには、いい機会にはなっていますが。
- (センター長) 再度学校と打合せをしていきたいと思います。
- (佐藤三男委員) 簡単にはいかないのではないかと思います。特に大規模校は難しいのではと考えます。
- (委員長) 投入量のデータはあるのですか。
- (センター長) あります。
- (中村一治委員) 休息休憩の関係もあり、大変きつい勤務状況になります。
- (佐藤千恵子委員) 今後、新たにコンポストを設置する学校については、学校側と事前に話を進めていくのでしょうか。
- (センター長) 学校と事前に協議をし、設置していきたいと考えています。
- (大森委員) 発酵促進剤は使用しているのですか。
- (センター長) 殺虫剤は使用していませんが、発酵促進剤は使用しています。
- (大森委員) 「米ぬかを促進剤として使うといい」という話を聞きました。なるべく費用をかけないように実施をしては、どうでしょうか。
- (佐藤三男委員) 石狩デーは資料に記載していた学校以外でも、実施しているのですか。
- (センター長) 石狩地区の小中学校で地場産食材を使用した給食を全校に提供しましたが、生産者が授業で児童に説明したには2校です。
- (齊木委員) 時間に余裕をもって、当日の地場食材をファックスで通知してください。
- (センター長) 当日の納品時でないとな産地が分からない食材もありますが事前に地場産食材も含め産地が分かる食材については、早めにお知らせします。
- (佐藤千恵子委員) 地場の小麦で作ったパンを提供する機会をもっと増やしてほしいです。
- (委員長) 他に質問はありませんか。ないようですので、それでは次へ進みます。

7 報告

(1) 財政計画(事務事業の見直し)について

- (センター長) お手元の資料P6でございます。
今回、財政再建計画(事務事業の見直し)が本年10月に公表されたところでありますが、この中で、厚田学校給食センターが平成2年の開設で調理能力が約800食あり、現在300食の提供に留まっており、一方浜益学校給食セ

ンターは昭和41年の開設で老朽化も進み、調理場がウエットシステムでもあることから浜益学校給食センターを廃止し、効率的運営、そして衛生管理上からも厚田学校給食センターから学校給食を提供する案が示されたところでもあります。

また、予定としては浜益学校給食センターが平成20年3月で廃止されることに伴い、現在3地区にある給食センターが2地区になることから、これに併せて平成20年4月より3地区の給食費を統一しようと考えております。また、平成19年度より基準パンである角食パン、コッペパンの原料である小麦粉を外国産小麦粉から北海道産小麦粉に切り替わり価格差が1食当たり約5円程度生じますが、平成19年度においては北海道学校給食会が負担しますが、平成20年度から負担がなくなりますので、併せてこれらについても検討しなければなりません。

以上で報告事項を終わらせて頂きます。

- (委員長) 質問を受けます。
- (大森委員) 厚田・浜益のセンター統合については、この場で話し合いたいです。給食費の統一については、地元の人々の声を聞いてほしいです。地元の食材を使っているのだから、多少高くてもいいという声もあります。
- (生涯学習部長) 給食費統一の議論もしていただきたいと思います。厚田・浜益のセンター統合についても、次回には示したいと思います。
- (佐藤千恵子委員) 厚田・浜益間の道路が通行止めになることもあります。そういうことも考えての厚田・浜益のセンターの統合なのでしょう。
- (生涯学習部長) 悪天候による通行止等、緊急時の対応についても示していきたいと思います。
- (大森委員) 実態がよくわからないまま議論するのは難しいと思います。実際に現場を見る必要があるのではと思います。
- (生涯学習部長) 検討させていただきます。
- (委員長) 全体をとおして何かありませんか。
- (佐藤千恵子委員) アレルギーの対応について、今の給食の中で何が対応できるのかを事前に教えてほしいです。また対応についても年度途中からでなく、年度当初より実施してください。
- (大森委員) ホームページ上で委員の更新がされていません。委嘱状は郵送できないのでしょうか。
- (センター長) ホームページの更新は、速やかに対応します。
- (中村武史委員) この運営委員会は、年に何回開催されるのでしょうか。
- (センター長) 委嘱状交付の年度であれば「給食の状況」を含めて1回、また給食費統一になると2回程度の開催は必要になるかと思います。
- (大森委員) 開催日をもっと早く教えてほしいです。
- (センター長) 皆さんの都合もありますが、なるべく早くお知らせします。
- (委員長) 他に何かありませんか。

- (センター長) その他ですが、ブログを開設しましたので、石狩市の学校給食の取組状況をインターネット上で見ていただければ、と思います。
委員報酬につきましては、平成19年度より現行の約10%カットを予定しております。
- (委員長) 他に何かありませんか。ないようですので、これをもって閉会いたします。

平成19年1月16日 議事録確定

石狩市学校給食センター運営委員会
委員長 島田 義治